

組織名	公益財団法人荒川区自治総合研究所
-----	------------------

1 組織概要

所在地	東京都荒川区荒川二丁目11番1号
TEL	03-3802-4861
FAX	03-3802-2592
URL	http://rilac.or.jp/
e-mail	info@rilac.or.jp
設立	2009年10月1日
設置都市等	荒川区
代表者	西川 太郎(理事長/区長)

2 組織動向

(1)沿革

設置経緯	<p>○2007年3月策定の「荒川区基本構想」で掲げられている荒川区の将来像である「幸福実感都市 あらかわ」を実現するため、政策形成力の一層の向上を目的とし、2007年度から自治体シンクタンクの設立について検討を開始した。</p> <p>○2009年4月から、シンクタンク設立準備担当を配置し、10月に一般財団法人として設立した。</p> <p>○2011年8月から、公益財団法人となった。</p>
見直しの動向	
役割(2017年時点)	荒川区が基礎自治体として政策形成力の向上及び質の高い区民サービスの提供を図るために、区が抱える課題等について多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に対して政策提言等を行うことにより、地域社会の健全な発展に寄与する。

(2) 組織体制

設置形態(択一)	<input type="checkbox"/> 自治体の内部組織 <input type="checkbox"/> 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="checkbox"/> 大学の附置機関 <input type="checkbox"/> 広域連合 <input type="checkbox"/> その他
常勤職員数	4人
うち常勤研究員数	3人
非常勤研究員数	3人
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特に行っていない
庶務体制	庶務専従者(非常勤職員)が対応
市民参加、外部連携	

(3)会計

会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2017年度予算	8,577千円	
2016年度決算	4,337千円	
2015年度決算	3,513千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	補助金等収入
	2位	基本財産運用収入
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	

組織名	公益財団法人荒川区自治総合研究所
-----	------------------

3 活動動向

(1) 活動実績	
調査研究名	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2017年度に実施した調査研究	<p>荒川区民総幸福度(グロス・アラカワ・ハッピーネス:GAH)に関する研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて、荒川区民総幸福度(以下「GAH」という。)に関する調査研究を行う。GAHの研究については、荒川区民の幸福度を測る指標化の側面と、区民をはじめ荒川区に関わるすべての人や団体等が幸福について共に考え、地域の幸福のための活動につなげていく運動の側面を踏まえ取り組んでいる。 ・区民の幸福実感を調べるため、「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野のGAH指標を用いた区民アンケート調査(以下「GAH調査」という。)を平成25年度から毎年実施している。 ・2017年度は、行政職のみならず保育士、建築職、土木職など様々な経験と知識を持つ区職員及び研究所職員で構成されるワーキング・グループを、荒川区基本構想に定める6つの都市像ごとに再編成し、過去5年間のGAH調査で蓄積したデータを分析するとともに、その分析結果を基に、課題解決のための事業提案等について検討した。
	<p>自然体験を通じた子どもの健全育成研究プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全育成という観点から自然体験の有用性を検証するとともに、荒川区の次代を担う子ども達の自然体験をより効果的・効率的に実施していくための方策などについて提言するため、調査研究を行う。 ・子どもの健全な成長における自然体験の効果について、先行研究や文献サーベイによる調査を行い、論証した。 ・荒川区における子どもの自然体験に関する既存の取り組みを、事業の実施主体と体験プログラム内容により整理、分類した。区の自然体験事業に携わる関係団体にインタビューを実施し、具体的な事例を把握した。 ・大人の意識向上と身近な自然体験の重要性を指摘し、施策の方向性を示した。 ・URL: http://rilac.or.jp
	<p>自治体マネジメントに関する書籍の出版</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体のマネジメントについて経営学的な視点から論じた書籍の出版に向けて執筆、校正等を行った。
定期刊行物	ORILAC NEWS(年2回程度)
(2) 活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 設置市からの要請 <input type="checkbox"/> 外部有識者等からの助言・示唆 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 貴団体・組織で自ら発案 <input checked="" type="checkbox"/> その他(荒川区と研究所の協議により決定)
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する <input checked="" type="checkbox"/> その他(プロジェクトに関連する書籍の発行を行う。プロジェクトに関連する講演会やシンポジウム等を開催する。) <input type="checkbox"/> 特に行っていない
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input type="checkbox"/> 外部有識者から評価を受けている <input type="checkbox"/> 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 特にそういう機会はない

組織名	公益財団法人荒川区自治総合研究所
-----	------------------

4 特記事項

研究員の業務分担	テーマごとに業務を分担している。
研究員の専門性育成の手立て	<p>○外部有識者とともに研究を行うことにより調査研究のノウハウ、政策形成能力の向上などを図る。</p> <p>○研修等へ派遣する。</p>
研究員のキャリアパス等	<p>専任研究員を庁内公募や人事異動等により配置</p> <p>例) ・情報システム課 → 総務企画課(研究所設立準備担当) → 当研究所</p> <p>・環境課 → 当研究所 → 国保年金課</p> <p>・総務企画課 → 大学院派遣 → 当研究所</p> <p>・環境課 → 子育て支援課 → 当研究所</p>
その他	